産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成23年度実績）について（お知らせ）

環境省

平成25年12月26日

環境省では、平成23年度における全国の産業廃棄物の排出及び処理状況調査等について調査し、その結果について公表を行った。なお、結果の概要は次のとおりで、産業廃棄物の総排出量で前年比約１％の減少となっている。

１．全国の産業廃棄物の総排出量

前年度に比べ、約５百万トン（約1.2%）減少。
平成23年度総排出量約３億8,121万トン（図）
（前年度 約３億8,599万トン）

２．業種別排出量

前年度と同様、上位５業種で総排出量の８割以上。
（1）　電気・ガス・熱供給・水道業 約9,558万トン（25.1%）（前年度 約9,557万トン 24.8%）
（2）　農業・林業 約8,471万トン（22.2%）
（前年度 約8,509万トン 22.0%）
（3）　建設業 約7,540万トン（19.8%）
（前年度 約7,321万トン 19.0%）
（4）　パルプ・紙・紙加工品製造業 約2,990万トン（7.8%）（前年度 約3,341万トン 8.7%）
（5）　鉄鋼業 約2,825万トン（7.4%）
（前年度 約2,863万トン 7.4%）

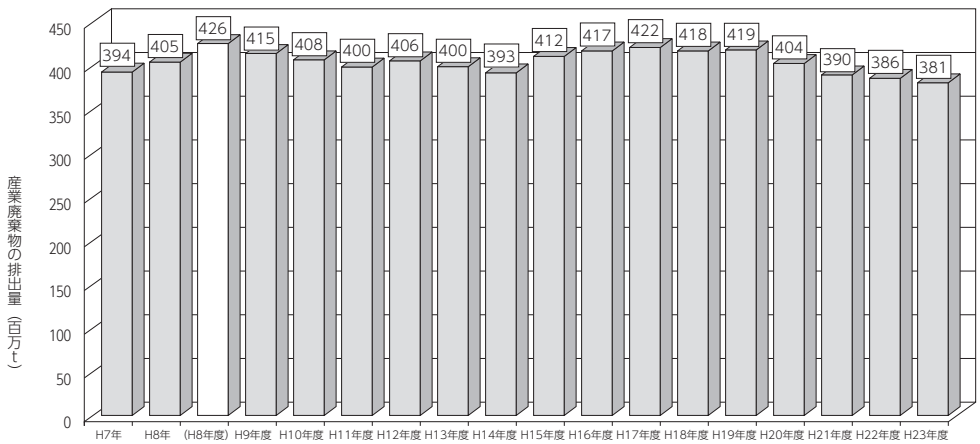
３．種類別排出量

前年度と同様、上位３品目で総排出量の８割以上。
（1）　汚泥 約１億6,613万トン（43.6%）
（前年度 約1億6,989万トン 44.0%）
（2）　動物のふん尿 約8,446万トン（22.2%）
（前年度 約8,485万トン 22.0%）
（3）　がれき類 約5,984万トン（15.7%）
（前年度 約5,826万トン 15.1%）

４．産業廃棄物の処理状況

前年度に比べ、最終処分量が約13%減少。
・再生利用量 約２億トン（52.5%）
（前年度 約２億473万トン 53.0%）
・減量化量 約１億6,877万トン（44.3%）
（前年度 約１億6,700万トン 43.3%）
・最終処分量 約1,244万トン（3.2%）
（前年度 約1,426万トン 3.7%）

環境省ホームページ／報道発表資料
URL　http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17554



平成８年度より排出量の推計方法が一部変更されている。平成８年度及びそれ以降の排出量は、「廃棄物の減量化の目標量※」（平成 11 年９月 28 日政府決定）と同じ前提条件で算出されている。
※ダイオキシン対策基本方針（ダイオキシン対策関係閣僚会議決定）に基づく政府の設定値

図　産業廃棄物排出量の推移